

SUBARU

環境活動レポート

(2010年度第2版)

(運用期間2010年4月～2011年3月)

～地域社会との共生を目指して～



四国スバル株式会社

発行年月日 2011年5月25日

修正年月日 2011年11月21日

【目次】

	ページ
1. 組織の概要	1
2. EA21推進組織図	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標とその実績	4
5. 二酸化炭素排出量、購入電力量、産業廃棄物排出量と最終処分量の月別前年比	5
6. 主要な環境活動計画	7
7. 環境活動の取組み結果と評価・2010年度の取組内容・代表者による全体評価と見直し	8
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9
9. 拠点一覧	10

【1】 組織の概要

(1) 事業所名

四国スバル株式会社
代表取締役 坂野 圭一

(2) 本社所在地

〒791-8036 愛媛県松山市高町463-1
関連部門 本社以外の販売及びサービスに係わる店(拠点)
別途「拠点一覧表」(EMS-SKS003)参照

(3) 環境管理者及び担当者連絡先

管理者	サービス部品部部长	猪野元 佳宏
担当者	サービス部品部主査	大北 智彦
連絡先	TEL089-972-0191	FAX089-972-0158

(4) 主たる事業の内容

スバル車の販売並びに付随する関連業務
1. 新車販売 2. 中古車の販売 3. 車検・定期点検・一般修理・板金塗装
4. 自動車の部品・用品等の関連商品の販売 5. 自動車リース
6. 自動車保険代理業務等

(5) 事業の規模

年間売上高	66.25億円(2010年度)
年間販売台数	新車3,478台 中古車1,434台 (2010年度)
従業員数	148人 (2010年4月1日現在)

(6) 事業年度 4月～3月

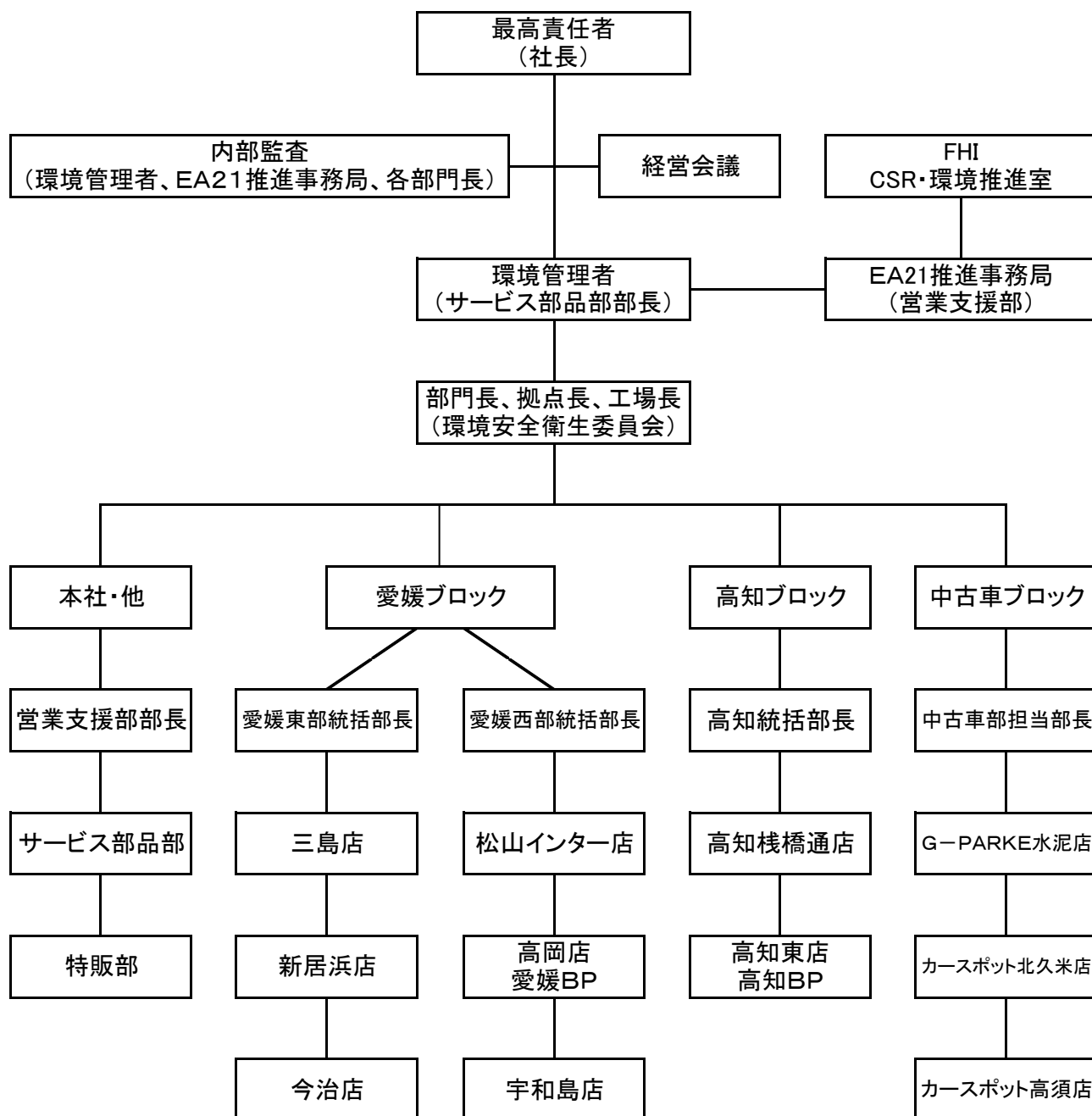
【認証・登録の対象組織・活動】

(1) 登録組織名 四国スバル株式会社

(2) 関連事業所 別途「拠点一覧表」(EMS-SKS003)参照

(3) 活動 前記(4)の主たる事業の内容に準ずる。

【2】 EA21推進組織図



【3】環境方針

環 境 方 針

《基本方針》

四国スバル株式会社は、中四国地区グループ統括の環境方針を基に、地域及び地球規模での環境保全の重要性を認識し、自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務などの事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し従業員一丸となって積極的に環境活動に取り組みます。

《行動指針》

1. 適用される環境関連法規制や弊社が約束したことを守ります。
2. 環境目標を定めその達成に向けて活動すると共に定期的に見直し、環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。又弊社が販売・提供するサービスの環境負荷の削減を行います。
3. 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ① 省エネルギーの推進（電力使用量、自動車燃料使用量を抑える）
 - ② 省資源（水使用量、紙使用量を抑える「森林保護等目的」）
 - ③ 廃棄物総排出量の削減とリサイクルの促進
 - ④ 化学物質の確実な管理（P R T R法関連）
 - ⑤ 事業所周辺の清掃活動など、地域の環境改善への貢献
 - ⑥ 「グリーン購入」を積極的に推進
 - ⑦ エコカー販売、車両点検整備の促進

この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

平成23年11月21日
四国スバル株式会社

代表取締役社長 坂野 圭一

【4】環境目標とその実績

(1) 現状(2009年)の環境負荷

表一1 現状の環境負荷

項目	単位	2009年(基準年度)	kg-CO ₂	売上1億円当たり
電気使用量	kwh	987,248	373,180	5,277
燃料	ガソリン	L	229,766	7,543
	灯油	L	1,693	60
	軽油	L	35,636	1,322
	LPG	m ³	1,274	112
	都市ガス	m ³	0	0
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		1,012,277	14,314
グリーン購入	品目			0
環境販売車	台	1,428		20
セーフティチェック	台	3,004		42
水使用量	m ³	8,376		118
産業廃棄物(最終処分量)	t	2		0

※全社合計

70.72

(2) 環境目標とその実績

表一2 環境目標とその実績

項目	単位	2010年度			2011年度	2012年度	
環境目標 (削減率)2009年度比)		2%			3%	5%	
		目標	実績	達成率	目標	目標	
電気使用量	kwh	967,503	996,874	97.1%	957,631	937,886	
	CO ₂ /億円	5,171	6,124	84.4%	5,119	5,013	
燃料	ガソリン	L	225,171	206,888	108.8%	222,873	218,278
	灯油	L	1,659	1,528	108.6%	1,642	1,608
	軽油	L	34,923	34,783	100.4%	34,567	33,854
	LPG	m ³	1,249	1,853	67.4%	1,236	1,210
	都市ガス	m ³	0	0	#DIV/0!	0	0
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	992,031	992,654	99.9%	1,924,930	961,663	
	kg-CO ₂ /億円	14,028	14,983	93.6%	29,056	14,516	
グリーン購入	品目	5	5	100.0%	10	15	
環境販売車	台	1,385	1,368	98.8%	1,737	2,078	
セーフティチェック	台	5,175	4,976	96.2%	5,279	5,382	
環境目標 (削減率)2009年度比)		1%			2%	5%	
水使用量	m ³	8,292	8,831	94%	8,208	7,957.2	
	m ³ /億円	125.2	133.3	94%	123.9	120.1	
環境目標 (削減率)2009年度比)		2%			3%	3%	
産業廃棄物(発生量)	t	149.08	157.36	94.7%	149.08	149.08	
(資源化・熱回収量)		148.56	154.9	95.9%	147.04	147.04	
(最終処分量)		1.96	2.48	79.0%	1.94	1.94	
(最終処分量/億円)	t/億円	0.03	0.04	78%	0.03	0.03	
主な化学物質 トルエン	g/台	209.7	199.4	105%	207.5	207.5	
酢酸ブチル	g/台	31.9	7.6	420%	31.5	31.5	
キシレン	g/台	53.9	78.1	69%	53.3	53.3	

※全社合計

66.25

備考)・2009年実績は年間実績です。

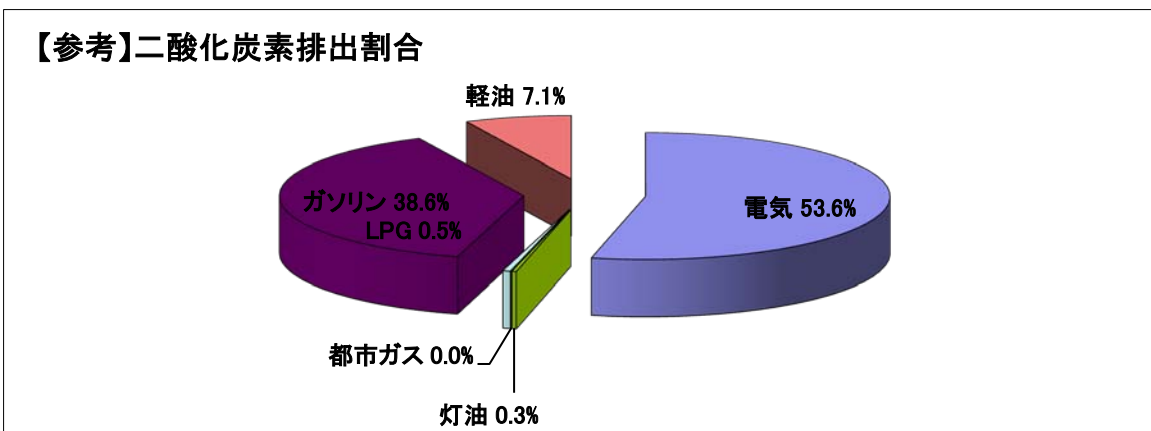
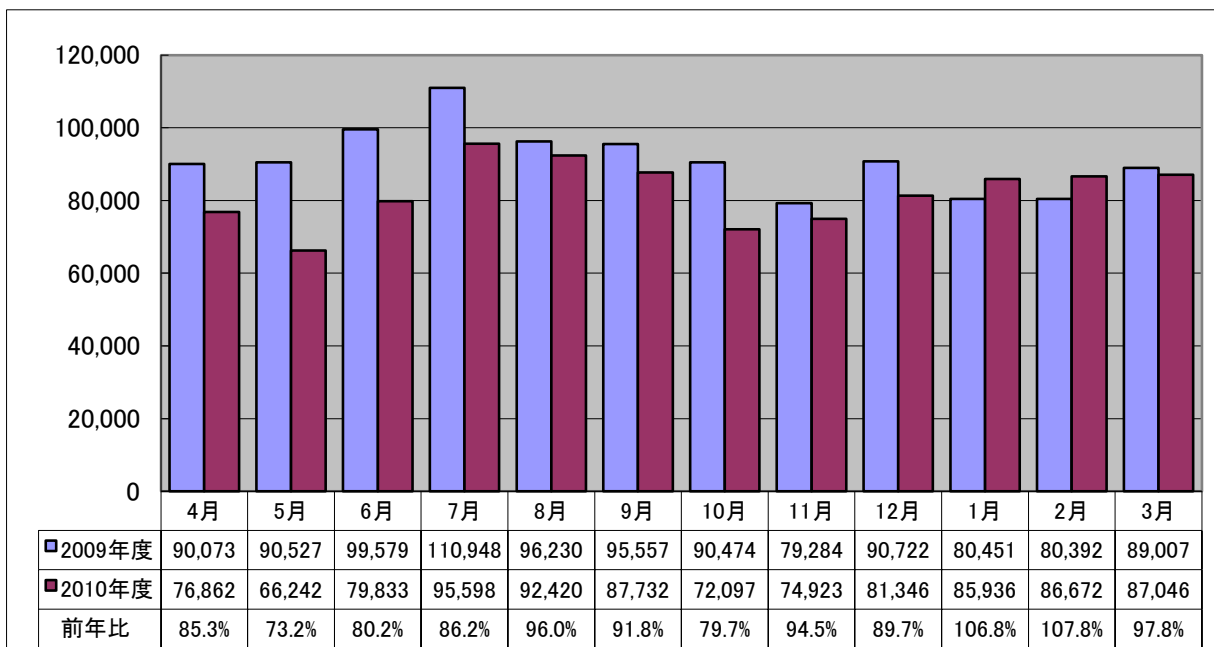
・達成率の評価は総量及び原単位指標(売り上げ1億円当り環境負荷)で行う。

・環境目標(削減率)は全社統一としています

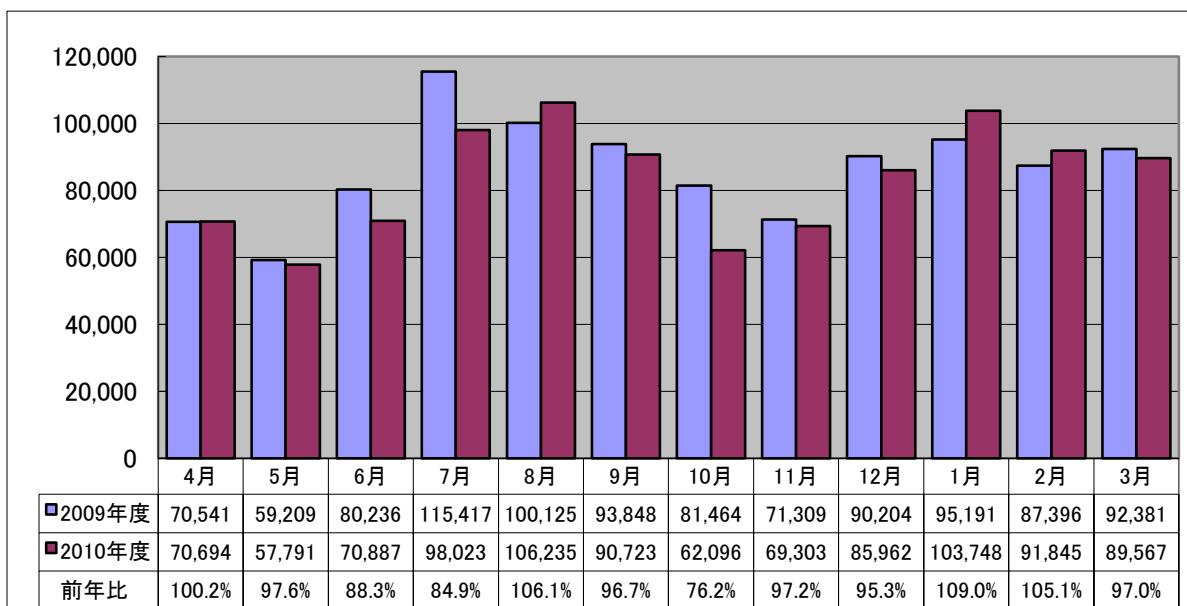
・四国電力のCO₂排出係数 0.407

二酸化炭素排出量、購入電力量、産業廃棄物排出量と最終処分量の月別前年比

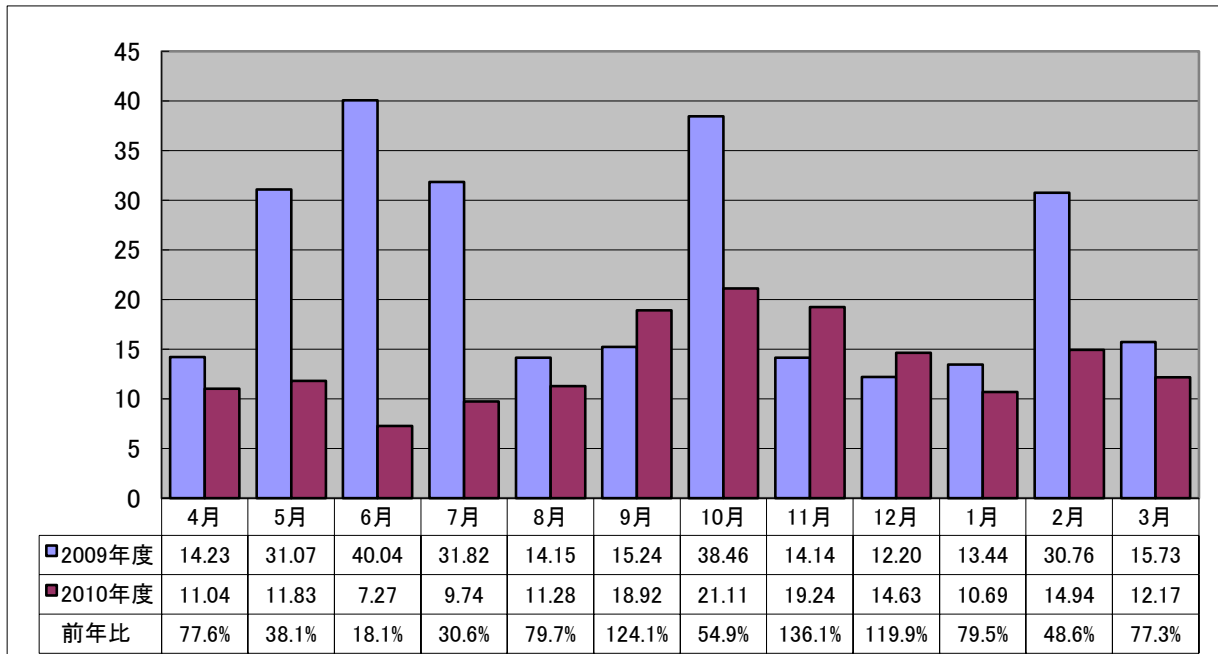
二酸化炭素排出量(単位:kg-CO₂)



購入電力(単位:kWh)

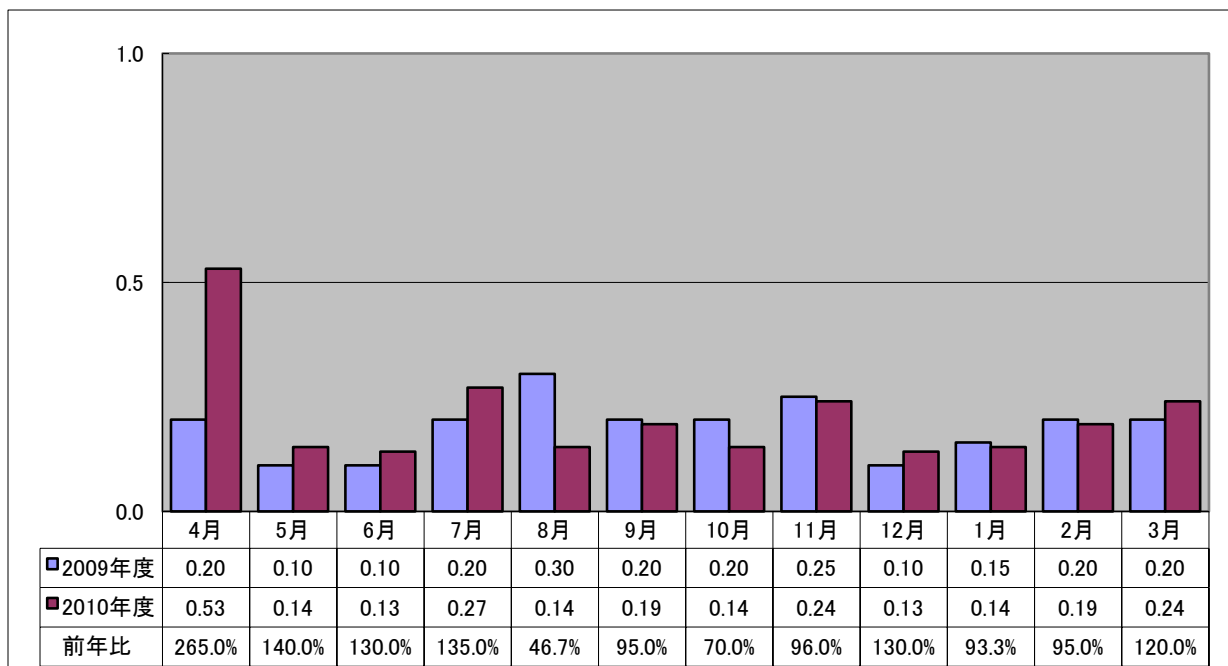


産業廃棄物 発生量(単位:t)



(注)2009年度の産業廃棄物排出量は、年間排出量から算出した月平均値を使用しております

産業廃棄物 最終処分量(単位:t)



(注)2009年度の産業廃棄物最終処分量は、年間排出量から算出した月平均値を使用しております

【5】 EA21活動における環境活動計画

点線(.....):計画、実線():実績

項目 No	今年度の環境活動計画 (2010年度末の達成したい目標値)	実行施策・手段 (目標を達成するために、何を、どの様にやるか記述)	実施主務者 (誰が)	日程(いつまでに)		
				2010年度~2012年度 (当該年度の計画と実績を記入)		
				2010年	2011年	2012年
1	本来業務の見直し 商談時間最短化と経費の削減 正確な作業推進と日割り在庫の推進、残業の削減 従業員のレベルアップ グリーン購入の基本原則の活用購入 環境対策車の販売台数 目標1385台(但し2010年度は環境対策車の具体的販売台数を把握) 【スバル販売車種の内、環境対策車は全グレードの約40%、従って販売目標は2010年度目標の約40%とした】 セーフティチェック実施台数 目標5175台 【セーフティチェックは2010年度目標をベースとする】 エコタイヤ販売比率10%	営業時間内に商談を済ます。ショールームの営業時間厳守。 WEBトレーニングによる商談力向上 フロントによる予約管理。 OJTによるメカニック技術力の向上。 購入品もエコ商品を積極購入。 グリーン購入の品目を毎年増加させる。 販売、提供するサービスによる環境負荷低減。 ユーザー指導管理(環境改善指導)環境対策車販売促進 【但し2010年度はスバルで扱う環境対策車の具体的販売台数を把握しその結果により来年度以降の販売目標を再確認する】 お客様感謝ディ等の活用促進(無料点検の有料化)点検入庫促進することにより排気ガスのクリーン化、環境に良い状態にする事が目的。 エコタイヤ販売促進(燃費向上目的)	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
2	* 電気使用量削減 2% * 数値目標 = 967, 503kwh kg-CO ₂ /億円 = 5, 171	* 照明の適正化、採光場所ごと(お客様、従業員で線引き) * 節電の取組み: スイッチ部に「節電」貼り紙、昼休憩時事務所消灯 * ショールームオープン時間短縮、夜間PC主電源OFF等を行なう * 冷暖房の室温管理: (暖房: 23℃以下、冷房: 26℃以上) * 照明の適正化: 昼間明るい場所は消灯、屋外看板含む * 省エネタイプ機器への交換: OA機器、照明機器等 * ノー残業デーの活用による定時退社: 仕事の効率アップ	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
3	* 燃料使用量削減 2% * 数値目標 ガソリン = 225, 171L 灯油 = 1, 659L 軽油 = 34, 923L LPG = 1, 249m ³	* 無駄な走行の排除、走行ルートの見直し * 引取、納車の極少化、効率化 * エコ運転の推進、エコドライブ5か条の推進	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
3	* 紙(コピー紙)の使用削減 1% * 数値目標(購入枚数) 11, 539, 500枚	* 全拠点の集計を確立する * 電子文書の使用拡大、データによる管理推進 * コピー削減の努力、本社⇒拠点への通達、指導 * 裏紙の使用推進	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
4	* CO ₂ 削減目標 2% * 数値目標 = 992,031Kg-CO ₂	* 電気、化石燃料等の削減	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
5	* 水道水の使用量削減 1% * 数値目標 = 8, 292m ³ 水使用量/億円 = 117. 3	* オフィスの節水活動推進 * 洗車時の配慮	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
6	* 産業廃棄物の削減 2% * 数値目標 産業廃棄物(発生量) = 149. 08t (資源化・熱回収量) = 148. 56t (最終処分量) = 1. 96t (最終処分量/億円) = 0. 03 * その他紙資源の削減目標 2% 3. 29t	* 裏紙の使用、ペーパーレス化 * マニフェストの完全運用 * 排出量削減取組: 梱包箱の再利用等 * 分別再資源化の強化(金属くず、タイヤ、バッテリーの売却推進) * シュレッダーごみの削減 * 販売促進物件の適正購入と効率の利用	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
7	* 主な化学物質の削減 2% * 数値目標 主な化学物質 トルエン = 20.9g/台 酢酸ブチル = 31.9g/台 キシレン = 53.9g/台 * 塗装関連化学物質の適正管理 法の未順守が無いこと * 水性塗料への転換検討	2009年度板金台数実績 四国スバル、1475台 * 法規制、社内基準の順守: PRTR届出、産業廃棄物管理、VOC管理 * 法規制、社内基準の順守 * 関係者への教育 * PRTR届出、産業廃棄物管理、VOC管理	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
8	* 順守状況のチェック	* 法規制、社内基準の順守 * メーカーによるリサイクルの完全準用	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
9	* 現在取組拠点の活動の定着化。 * 現在未取組拠点への活動の理解を深める。	* 地域密着型拠点実現のため地域 社会への環境活動を進める (地域清掃活動の実施拠点を増やす) ・朝の清掃、社内だけでなく社外(歩道や近隣地域)の取り組み	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
10	* 本社及び各拠点の管理者へEA21に関連した環境教育を行い浸透を図る * 内部監査を行える体制作りを行う	* 年間教育計画に基づき教育を実施 * 層別教育を実施(一般、管理者、環境負荷取扱部署等に分け)	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→
11	* 設備投資計画 コピー機、シュレッダー、電話、テレビ エアコン、ヒーター類 (劣化更新次第で予定)	* 固定資産台帳にて管理 * 順次エコ対応品に変更(低電力、低燃料タイプ) * 物に応じてリース物件に変更も考慮する	環境管理者 各部門長 拠点長	→	→	→

※2010年度終了時に削減手段を再確認し、必要があれば修正する。 ※修正した箇所は、赤字で記入し判る様にしておく。 尚、表記環境活動計画は年度内に達成する事を原則とする。

【6】環境活動の取り組み結果と評価・2010年度 of 取組内容・代表者による全体評価と見直し

(1) 取組結果

表一4 環境活動の取り組み結果(売上1億円あたり)

項目		2010年度 目標削減率	運用期間中の 目標値	実績	達成率
				2010年度	
CO2排出量の削減	kg	2%	14,028	14,727	95.3%
水使用量の削減	m ³	1%	117.3	133.3	88.0%
産業廃棄物最終処分量	t	2%	0.03	0.04	75.0%

(2) 評価

① 二酸化炭素

- ・ 目標値(14,028kg-CO₂/億円)に対して実績は(14,727kg-CO₂/億円)で、達成率は95.3%でした。

電気使用量、LPG使用量、の削減出来なかったのが大きく影響したと思われる。

他の項目については、本来業務の見直しにより削減等できたが、項目によっては削減ができなかった。

次年度は、更なる向上及び維持のため、各部門の業務効率化に向けた環境活動の取組を継続する。

② 水使用量の削減

- ・ 目標値(117.3m³/億円)に対して、実績は133.3m³/億円となり、達成率は88.0%と達成できなかった。

達成出来なかった要因として、日常業務での節水意識、展示車両などの洗車効率などが悪かった為である。

次年度は、この状況を踏まえ更なる削減に取り組み社員全員が意識強化し大幅な削減努力を行う。

③ 産業廃棄物最終処分量の削減

- ・ 目標値(0.03t/億円)に対して、実績(0.04t/億円)となり、達成率は大きく目標値を下回った。

時期的なことも考えられるが、拠点ごとの分別回収の意識低下が混合廃棄物の増加につながったと思われる。

次年度は更なる分別回収を徹底し排出量の削減に努める。

(3) その他の取り組み

- ・ エネルギー、水資源、産業廃棄物の削減は地球温暖化防止の為、当然の企業努力とし、今後も取り組むと共に本来業務の見直しについて、スバルスタンダードを充実させ、部門間の更なる連携強化を図り効率向上に努める。

次年度は環境活動計画をスバルスタンダードと関連付け、一層本来業務と共に取り組む体制を構築する。

(4) 代表者による全体評価と見直し

- ・ ガソリン使用量、灯油使用量、軽油使用量の、削減目標を達成しているので努力が伺えるが、産業廃棄物最終処分量が少し増加しているため更なる取組を強固にする。
- ・ 水使用量については、従業員全体で節水に対する取組みの意識があまり見受けられなかったため今後、洗車機等の使用方法を含め管理徹底する。
- ・ 全体として目標を達成しているものでも、各拠点で大きな差が見られるため、早期に原因の究明し対策をする必要がある。

【7】 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	遵法状況の確認	要求事項
水質汚濁防止法	○	特定施設の届出(自動車洗浄装置の設置等)
下水道法	○	排水施設の設置義務 特定施設の設置届出)
浄化槽法	○	保守点検、清掃及び定期検査
騒音規正法	○	特定施設の設置の届出
振動規正法	○	特定施設の設置の届出
消防法	○	少量危険物貯蔵届出、危険物屋内貯蔵所、LPG貯蔵設備等
廃棄物処理法	○	廃棄物の適正処理、危険物処理業者との委託契約
自動車リサイクル法	○	使用済み自動車の適正処理
化管法(PRTR法)	○	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録 基準以上の取扱量の行政への報告
労働安全衛生法	○	有機溶剤の使用対応 塗装ブースの設置届等

(2) 違反・訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は過去3年間ありません。

(3) 内部環境監査

内部環境監査を実施し法令違反が無いように自主チェックする。

(監査の実施は年1度以上行い、2年で全拠点を行う)

【拠点一覧】

(H22年4月1日現在) EMS-SKS003

文書番号:EMS-SKS003

事業所名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号	工場	
					資格	組織区分
本社・高岡店	791-8036	愛媛県松山市高岡町463-1	089-972-0191	089-965-1905	指定	G
松山インター店	791-1114	愛媛県松山市井門町455-1	089-969-1151	089-969-1152	指定	D
今治店	799-1523	愛媛県今治市郷桜井3-9-16	0898-48-7778	0898-48-7277	指定	D
新居浜店	792-0827	愛媛県新居浜市西喜光地11-35	0897-43-5725	0897-43-5727	指定	D
三島店	799-0411	愛媛県四国中央市下柏町840-1	0896-24-5011	0896-24-5321	指定	D
宇和島店	798-0081	愛媛県宇和島市中沢町1-5-7	0895-22-2219	0895-25-8072	指定	D
高知棧橋通店	780-8010	高知県高知市棧橋通4-15-7	088-832-1111	088-832-4950	指定	D
高知東店	781-5106	高知県高知市介良乙1060-10	088-878-7185	088-878-7186	指定	G
カースポット北久米	790-0923	愛媛県松山市北久米町757-1	089-976-6585	089-976-9966	—	C
G-PARKみどろ	791-0244	愛媛県松山市水産町109-1	089-990-8160	089-970-2261	認証	F
カースポット高須	781-5106	高知県高知市介良乙1037-2	088-860-5656	088-860-5652	—	C

注) 工場資格で指定は指定整備工場、認証は認証整備工場を示す。

組織区分の意味

- A = オフィス業務(事務所業務)
- B = オフィス業務 + 自動車販売(新車・中古車)
- C = オフィス業務 + 自動車販売 (中古車)
- D = オフィス業務 + 自動車販売(新車) + 整備業務
- E = オフィス業務 + 自動車販売(新車・中古車) + 整備業務
- F = オフィス業務 + 自動車販売 (中古車) + 整備業務
- G = オフィス業務 + 自動車販売(新車) + 整備業務 + 板金塗装
- H = オフィス業務 + 整備業務 + 板金塗装